

10月13日～14日の二日間、「のしろ産業フェア 2018」が開催されました。

絶好のイベント日和のもと、秋田県診療放射線技師会ブースも3年ぶりに復活し、能代市内の企業集団に紛れ込み、骨密度や診療放射線技師のPR活動・マンモグラフィの受診勧奨に勤めました。3年前の骨密度1000人超えの記憶がよみがえり、「今年はほどほどに頑張りましょう」と話したのですが、いざ始まると県北の血が騒ぐのか、「骨密度いかがですか～・タダですよ～」とう声があちこちから発せられ、タダの言葉に引かれた市民の行列が出来てしまいました(嬉しい悲鳴)。蓋を開けると、2日間で777吊と、1000吊には及びませんでした。みんな本当に頑張ったと感じております。主催者発表によると、2日間の来場者は1万500人で、好天にもかかわらず、昨年より1700人も少なかったそうです。そういえば、以前と比べると、何となく人が少なかったと感じていたのは私だけではなかったと思います。能代の人口減少を肌で感じた二日間でした。技師の参加者は、1日目が25吊、2日目が14吊と人手不足に見舞われ、お昼休みもままならい状況でした。特に、マンモ担当の女性技師が2日目は2吊しかおらず、ブラック支部のレットルが張られても仕方ないと反省しております。参加して下さいました技師の皆様、本当にありがとうございました。

記 松橋



